

総人口	34,777人
男	17,112人
女	17,665人
(昨年同月)	34,283人
世帯数	7,864戸
(昨年同月)	7,627戸
住民登録人口より	

44年度の予算きまる

総額13億447万2千円

(市民一人あたり87,500円)

一般会計10億8千554万3千円

特別会計2億1千892万9千円

第1回市議会定例会で予算化されたおもなもの

▽八・一七豪雨災害復旧

二億七千五百九十三万二千円

(農林施設・公共土木災害復旧)

▽山手線新設工事 一千二百万円

▽市道舗装・補修 一千三百九十七万一千円

▽都市下水(神の木下水など) 二千四百二十二万円

▽蜂屋小改築(二カ年事業) 四千五百万円

▽古井小増・改築 二千四百三十万円

▽東中プール建設 一千百万円

▽組合立中学校負担金 一千五百五十万円

▽小学校机・腰掛購入(一・二年生) 三百万円

▽市民体育館建設 四千百万円

▽農業構造改善事業 五千八十七万一千円

▽農免道路新設負担金 五百万円

▽農協育成補助 三百十五万円

▽商工会事業補助 三百十五万円

▽中小企業融資銀行預託 一千万円

▽交通共済加入推進 五十万円

▽交通遺児援護交付金 十万円

▽伊深保育所改築 七百七十六万五千円

▽全市一せいの消毒 八十万円

▽救急車および消防連絡車購入 二百六十万円

▽消防ポンプ積載車購入(四台) 百八十万円

▽水道管布設工事(森山・太田間) 三千六百万円

ことしの重点施策5つの柱

1. 災害復旧工事の早期完成
2. 道路交通網の整備と都市基盤の確立
3. 教育施設の充実
4. 産業の振興
5. 市民生活の向上



昭和四十四年度の予算編成は、年頭の市報などで、私の抱負をみなさんに発表した五つの柱と、美濃加茂市総合開発計画のメインテーマである「水と調和した明るい生活・豊かな都市」を骨子としました。

財政につきましては、あくまで健全性を保ちながら、総額では本市としては初めての十億の大台を大きく上回る十三億四百四十七万二千円と、思いきった大型予算を編成しました。

このように、大型予算が編成できましたのは、市民のみなさんの深いご理解・ご協力と、渡辺第一建設政務次官をはじめとして、国県ご当局のなみなならぬご配慮のたまものと、心から感謝いたしております。

(1) 災害復旧は早期復旧

個人災害の負担も軽減

八・一七集中豪雨は、市内各所に大きなツメ跡を残し、国補災害だけでなく数箇所、市単災害を含めると、復旧カ所は極めて膨大なカ所にのぼり、想像をこえる大きな復旧予算が必要となつてきています。

しかし、本市はご承知のように、局地的に指定され、極めて有利な措置が行なえるようになり、早期完成目ざして努力します。とくに個人災害は、河川復旧とも密接な関連がありますが、七割程度、ことし春、作付できるよう努力し、個人負担についても、できる限り軽減していきたいと思っております。

さらに、大がかりな川浦川改修計画も、この二月に開所された津保川改修事務所とじゅぶん話し合い、将来とも災害のない平和郷建設のためまい進いたします。

(2) 新青柳橋など早期着工

市街地の排水事業を推進

夢のかけ橋といわれた「中濃大橋」の完成に引続き、同橋以遠のバイパス道路の早期着手と、新青柳橋早期着工などを、関係当局に強力に働きかけ、促進していきたくと考えています。

市内の交通体系の整備については、比較的整備が進んでいる東西交通と並行して、郡上八幡と美濃加茂線、七宗と可児線などを主要地方道へ昇格させるため、関係当局へ働きかけ、南北線の整備をしたいと思っております。

なお毎年のように脅かされる浸水問題については、加茂川と門木川、美濃川工事の推進をはかっていくほか、中小河川の改修、市街地の排水事業も積極的に推進し都市基盤の整備を図りたいと思います。

(3) 教育施設をさらに充実

北中は富加中と統合

教育施設の充実は、本市充足以来の重点施策でもあり、関係各位の深いご理解と、ご協力によって着々その成果を収めています。

とくにことしは、北中と富加中の組合立中学校の設置、蜂屋小の老朽校舎改築、古井小の児童数増加による増設、東中ブルーの建設など、従来の教育施設充実ベイスを大きく上回ることになりました。

た。さらに三カ年計画で実施してきた児童の机・腰掛は、残る一・二年生を更新したいと思っております。

(4) 右岸用水を高度利用

各種企業の健全育成

水資源公団の発足、日立製作所の進出は、あらゆる面から美濃加茂市の将来にとって、重要なものになるように思われます。

まず、農業については、右岸用水を高度に利用した営農計画を樹立するとともに、農業構造改善事業の第二ラウンドを積極的に進め、新時代に即応する基盤の整備に着手したいと思っております。

商業については、都市計画に基づく用途地域の指定を行ない、市内はもとより周辺の消費者に魅力ある商店街改築計画を慎重に検討したいと考えています。

工業については、既存の各種工場、健全育成をはかりつつ、日立製作所の下請けによる所得の増大をはかりたいと思います。

(5) 市民体育館を建設

交通安全思想を高める

あらゆる施策が、市民生活の向上を究極の目的としていることは、いまさら申し述べるまでもございません。そのうちでも、とくに市民福祉の向上としては、生活環境の整備を初め、災害のため一年延期した市民体育館の建設、あるいは伊保保育所の改築、消防・防犯交通安全体制などを重点的に推進するとともに、社会的に重大問題である交通道児についても、できる限り援助したいと思っております。

4月の

広報メモ

四月にはいよいよ、気温があがりカエルが鳴きはじり、市内でも下旬ごろ苗代の準備や野菜の種まきが行なわれるようになります。

また、たくさんの方が観ていただきます。さて、今月のこよみは：一日 宮庁の新会計年度始まる。

エープリル・フール

三日 山之上・蜂屋・加茂野・伊深・三和・牧野の春まつり

四日 太田の春まつり

五日 市内保育所入所式午前十時

六日 中濃大橋しんぐん式、午前十時、太田町下町の現地

七日 市内小中学校入所式、下米田（小山を除く）の春まつり

八日 花まつり（釈迦誕生日）

公立高校入学式、正午受け付け

十日 下米田町小山の春まつり

婦人の日、婦人週間始まる

十一日 メートル法公布記念日

十三日 古井の春まつり

十八日 発明の日、科学技術週間始まる

家庭で生かしてください

二十日 通信記念日、家庭の日

二十二日 全国環境衛生週間始まる

この日を中心に「春の大そうじ」をしましょう。

二十四日 植樹祭、午前十時、伊深地内

天皇誕生日

活発だった質疑応答

災害復旧関係に焦点

市議会第1回定例会

昭和四十四年度一般会計予算案などを審議する、市議会第一回定例会が、さる三月七日から十七日までの十一日間開かれ、提出された三十三案件（議案二十一、報告一、陳情十、請願一）を慎重に審議し、三十二案件をそれぞれ原案どおり可決・承認・採択しました。残る一案件「食糧管理制度の堅持に関する請願」については、閉会中の継続審議としました。

七日開会 本会議

開会あいさつのあと、まず、総額十三億四千七百二十万二千円にのぼる新年度予算は十九議案が上程され、岸市長が新年度にのぞむ施政方針（二ページ参照）と、予算編成方針を説明しました。

昭和四十四年度予算の全ばうは一般会計予算

(一) 国民健康保険会計
十億八千五百五十四万三千円

(二) 国民健康保険会計
一億二千五百九十七万四千円

(三) 国民健康保険会計
二億一千九百九十九万九千円

(四) 企業（水道）会計予算
八千四百七十四万二千円

合計 十三億四千七百二十万二千円

この新年度予算は、健全財政をかたくり守りながら、市民福祉につながる重要事業が、積極的にとり上げられています。

この日は、新年度予算を提案説明にとどめ、四十三年度一般会計補正予算など十議案を原案どおり可決しました。

四十三年度一般会計補正予算は八・一七災害のため市民体育館を四十四年度事業に延期したことやバス転落事故で遺体安置所、あるいは道徳館などに使用した現在の産業観光会館、青年婦人センターを取りこわし、新しく産業文化会館を建設する予算（四千五百万円）がおもなものです。

▽産業文化会館（鉄筋三階建）一階は産業文化の展示場兼大会議室、二階は和室会議室、三階は結婚式場と披露宴会場、完成八月。

八・九日 補正として休会

十日 本会議

午前十時に開会され、藤掛・佐光・渡辺（調）・若宮・長村・日江・伴野・大畑・渡辺（他）の九議員が次々に登壇、一般質問が行なわれ

ました。

一般質問は、災害復旧関係、保育所新設、道路の新設改良、排水問題、都市計画、教育、公害問題など広範囲にわたって、市執行部の考えをたどりました。

とくに、災害復旧関係、市街地に保育所新設問題などについては各議員ともかなりつとこんだ質問内容となりました。

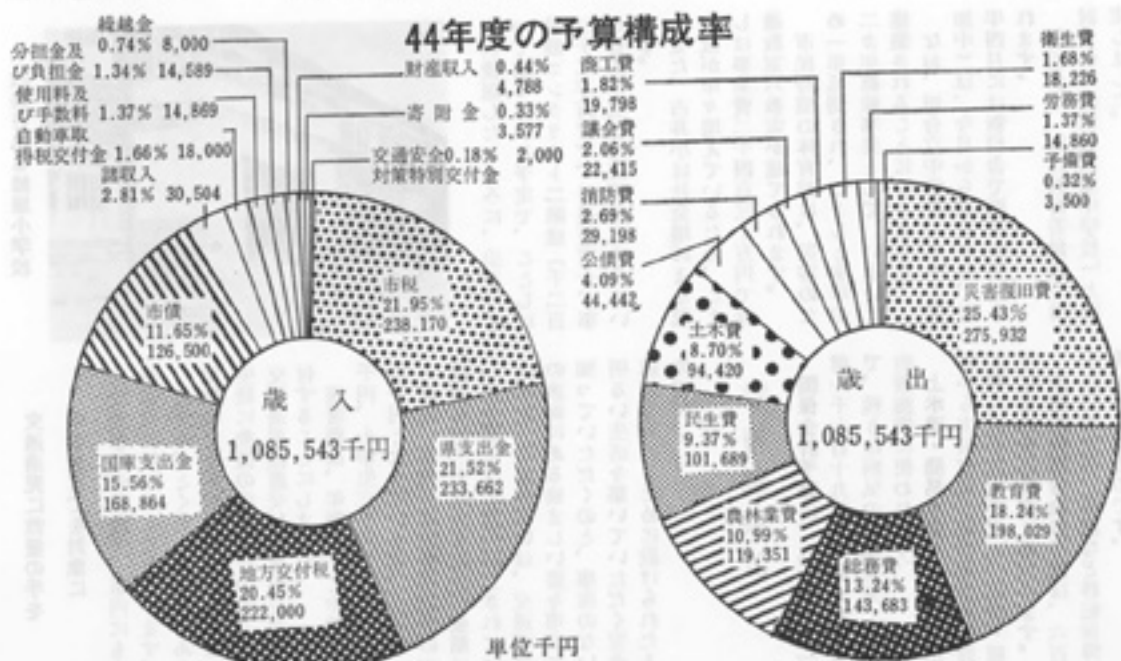
順次、市長・関係課長の答弁があつて、新年度予算、老人いこいの家建設基金の設置などに関する条例制定など九議案を、それぞれ関係委員会へ付託致しました。

十一日から十四日まで各委員会が開催されました。

十七日 本会議

各委員会に付託されていた各議案の審議結果が、各委員長から報告され、これを委員長長の報告により可決、請願一を閉会中に慎重に継続審議することにしました。

44年度の予算構成率



ゆくえ

新年度予算は、一般会計・特別会計を合すると13億447万2千円となり、市発足以来、初めて10億円の大台を大きく上回るようになりました。



南坂地内の小遊水十七水路工事

これを市民一人当りにすると3万7,500円（赤ちゃんからお年寄りまで）、4人家族なら15万円にもなります。これが、3万4,700市民の暮らしに関係の深い本市の当初予算ということになります。

この予算の中には、8・17災害の復旧費をはじめとして、道路や学校などの建設、交通通見に対する援費などが含まれ、暮らしに結びつく

施策がぎっしりつまっています。

しかし、案外どこのご家庭でも自分たちが納める税金の額についてはいろいろ論議されていますが、その税金を収入の柱とした予算には、あまり話題として取り上げられていないようです。

全ページにわたる予算記事が参考になればと特集しました。

全力あげてまず災害復旧 市税と地元負担を軽減

災害復旧については、市長の施政方針にもあるように、災害復旧工事の早期完成を第一にとり上げ積極的な予算が計上されました。これによって、被害地の全面積七割程度がことし中に復旧する予定です。災害復旧費などについては、別項を参考にしていただくこととし、ここでは、みなさんに関係の深いものをとり上げました。

平和部建設のため、大がかりな川浦川改修計画も、二月に発足した津保川改修事務所とじゅうぶん協議・検討して進められます。

なお、大きな被害があった三和連絡所は川浦川堤防の改修状況などと同進が深いわけですが、ことし中には完成する予定です。

神ノ木下水に二千四百余万円
山手線工事には千二百万円



改築される蜂屋小学校

交通通見に救援の手を
中学生までを対象に

交通事故の激増で、市内にも交通通見が年々ふえてきています。市では、とくに一家の柱である父親を交通事故でなくした児童・生徒に救援の手をさしのべようと交通通見援交付金を四月から交付することになりました。

援交費は、年額にして中学生五千円、小学生三千円、保育所児童二千円となっています。

現在、市内には中学生以下の交通通見が三十五人もあり、金額にして予算には十万円計上されていますが、このねらいは、交通事故の裏面にある痛ましい姿を市民に知っていただくのと、事故のない明るい生活を築いていただく安全思想を高めるために設けられたものです。

まず、個人災害の地元負担については、被害の大きい小さいもありますが、できる限り軽減する方針がとられています。

また、これと同時に、被害のあった土地・家屋など固定資産税、市民税なども思いきった減税措置がとられています。

このほか、将来とも災害のない

道路交通網の整備（道づくり・道なおし）は、地域開発に密着して、社会的、経済的にも重要性が大きく、市でも合併以来、全予算の十割強という高い予算が組まれてきました。ことしも土木予算は積極的に組まれ、山手線新設工事に千二百万円、市道新設改良に千四百万円、都市下水工事として神ノ木下水に二千四百二十二万円、市道舗装に千三百九十七万円などが計上されました。

このうち、都市下水（神ノ木）工事は、昨年から四カ年計画で進められていますが、今年度分は、現在位置（産業観光会館東）から約二十五ヶ所先までの中央公民館近くまで行なわれる予定です。

蜂屋小と古井小を改築
市民体育館は二カ年で建築

老朽化して危険校舎になっている、蜂屋小が、ことしから二カ年継続事業として改築されます。新校舎は、現校舎から北へ約二

また、古井小は社会増による児童数が年々増えているため、ことしは事業費二千四百三十万円で普通教室六教室が建てられます。

市民希望の体育館は、災害のため一年延期され、ことしと来年の二カ年継続事業として、いよいよ建築されることになりました。

なお、組合立中学校（北中と富加中）は、今月から設立され、来年四月には新校舎で授業が開始されます。

新校舎は、組合教育委員会が検討された結果「双葉中学校」と決定しました。

▽特別会計

国保会計予算は、九十三多の一億一千七百九十九万八千円が療養費で、残りは病気の早期発見、早期治療策に使われます。

上水道・簡易水道予算は、森山町から太田町前平間の配水管布設工事（三千六百万円）、伊深・稲垣などの維持管理に使われます。

土地地区画整理会計予算は、六百十九万四千円、家屋など移転保障費がおもなものです。

44年度予算総額 18億447万2千円

〈一般会計支出の内訳〉

単位千円

費目	項目	予算額	項目の説明	昨年度
議会費	議会費	22,415	議員の報酬、事務局職員の給料、議会活動に要する費用など	20,347
総務費 143,683	総務管理費	111,306	三役、総務関係の職員給与および全般的な管理事務（企画調整、財産管理など）、連絡所運営費、自治会などの経費、交通安全対策費（1,636）、公害対策費（350）市報発行費など	88,001
	徴税費	24,147	税務関係職員給与、納税組合表彰費、納税組合交付金など	20,958
	戸籍住民基本台帳費	5,864	戸籍・住民基本台帳関係職員給与、住居表示整理費（850）など	7,443
	選挙費	1,690	選挙管理委員会報酬、職員給与、農業委員会委員選挙費（140）など	3,060
	統計調査費	274	工業・事業所、全国消費実態調査など指定統計の調査費など	232
	監査委員費	402	監査委員報酬および事務費	346
民生費 101,689	社会福祉費	14,276	福祉関係職員給与、心配ごと相談費、敬老会費、未亡人会費、遺族援護費、老人憩いの家建設積立金（1,000）、国民年金事務費など	11,899
	児童福祉費	64,408	公私立保育所（園）の運営費・措置費、保育所建築費（伊保）など	50,141
	生活保護費	23,002	生活保護関係職員給与と扶助費など	21,172
	災害救済費	3	科目を残す程度、災害が発生した場合は追加される	3
衛生費 18,226	保健衛生費	16,997	保健衛生関係職員給与、伝染病・結核予防費、全市一せいの消毒費、衛生組合などの負担金、診療所医師報酬など	12,344
	清掃費	179	清掃人夫賃など	1,974
	上水道費	1,050	簡易水道会計繰出金など	1,000
労働費	失業対策費	14,860	失業対策として道路舗装整備などをつくる原材料、人夫賃など	13,313
農林費 119,351	農業費	117,483	農業委員会費（802）、水稲共同防除、畑作改善事業（2,987）、有線放送施設補助（2,500）、農業企業化資金利子補助（1,213）農業後継者クラブ農業婦人学級などの育成補助、優良種豚・乳牛導入補助など（482）、稚蚕共同飼育所（4,078市上）、右岸用水事業調査費、農業水路工事調査費（12,000）、農業構造改善事業（50,871）など	91,729
	林業費	1,868	林道工事調査費、植樹祭地元負担金など	1,220
商工費 19,798	商工費	19,798	商工会および商工事業補助（2,700）商店街施設補助（250）中小企業貸付銀行保証金（10,000）、商工団体、観光団体の育成、観光費など	19,207
土木費 94,420	土木管理費	17,266	道路・河川など各団体の負担金、土木関係職員給与など	16,634
	道路橋りょう費	40,863	山手線新設工事（12,000）市道改良（11,000）市道舗装（13,000）など	33,402
	河川費	1	県市河川改良事業地元負担金（金額決定次第追加される）	100
	都市計画費	35,768	都市下水（神ノ木）工事費（24,220）都市排水（7,770）都市計画調査費（300）、ライン公園整備（3,220）、土木各審議会委員報酬など	21,678
消防費 29,198	住宅費	522	住宅管理費（452）など	387
	消防費	29,198	消防職員給与、団員の手当、救急車購入（2,100）消防連絡車購入（500）ホース購入（830）ポンプ積載車4台（1,800）消火栓設置（500）動力ポンプ購入（990）少年消防・婦人防火クラブ・自警団結成補助など	21,616
教育費 198,029	教育総務費	24,688	教育委員会の職員給与、組合中学校負担金（11,500）など	11,652
	小学校費	96,993	蜂屋小改築（45,000）、古井小増改築（24,300）、一二年生用机・課外購入（3,020）プール浄化槽設置（400）、給食給の手当など	53,399
	中学校費	23,421	東中プール建設（11,000）中学校管理運営事務費、教材購入など	37,817
	社会教育費	8,800	青年センター整備費（800）、子ども広場整備遊具購入（500）、青年教育事業補助（180）、婦人教育事業補助（230）部落公民館新築助成金（600）、文化団体の育成補助、各種教育講座の開催費など	7,536
災害復旧費 275,932	保健体育費	44,127	市民体育館建設（40,000）、市総合体育大会開催費、東総合運動場整備（1000）、スポーツ教室の開催、体育協会事業補助（280）など	73,603
	農林施設	178,300	農業施設災害復旧（101,410）農地回（67,200）林業回（9,690）	2,383
	土木施設	94,632	道路橋りょう災害復旧（16,253）河川回（78,379）	0
公債費 予備費	災害関連	3,000	河川災害関連工事費（2,400）など	0
	公債費	44,442	建設事業債に対する元利償還金	35,062
予備費	予備費	3,500	予備費	6,200
	予備費	1,685,543		685,858
歳出合計				



競売する古井中央公民館(元古井小講堂)

市有物件競売のおしらせ

市有物件の競売入札を次のとおり行ないます。詳細は、市総務課管財係でお尋ねください。

競売日 昭和44年4月10日 午後1時から
場所 美濃加茂市役所大会議室
入札方法 一般競争入札
入札保証金 見積り入札金額の100分の3
附帯条件 建物は取りこわし撤去する。産業観光会館は落札後15日以内。

競売物件

- 産業観光会館 木造瓦葺2階建、277㎡
太田町上町地内
- 古井中央公民館(元古井小講堂) 木造瓦葺平屋建311㎡ 本郷町1丁目地内
- 旧太田中の一部(校舎) 木造瓦葺平屋建767㎡ 太田町西町地内
- 西中学校 教員住宅1棟 木造瓦葺平屋建40㎡ 太田町西町地内

前納はたいへん「お徳」

四月はそのチャンス

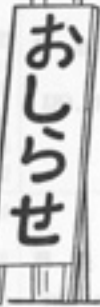
(国民年金)

国民年金の加入者は、職業も違えば、収入の時期も一定してはいないようです。
 このような事情を考慮して、たとえば秋の収穫期に収入がある農家の人とか、毎期納めるのが「めんどう」だった人のために、保

険料を前納できる仕組みがあります。これを前納制度といいます。また、保険料を納め忘れたり、納期限が遅れたりして、万一の事故の場合に、年金が受けられないことのないように、一年分の保険料を前納されることをおすすめし

ます。この前納を利用される場合で、とくに四月中に一年分(四十四年四月から四十五年三月まで)前納されると、
 ○三十五歳以上の人の保険料三千六百円が、三千四百十円に、
 ○三十五歳未満は、三千円が二千八百三十円に割り引きされるという特典があります。

このように、保険料の前納の仕組みは、簡単で便利なので、たいへん得にもなりますから、少しでも利用ください。
 一年前納を希望される方は、もよりの連絡所か市民課年金係(二階北側中央・電話五二二二二)へ申し出てください。



▽市が百円負担 交通共済へ加入を

市では、四月から交通共済に加入される方に、百円補助することになりました。

これは、交通戦争といわれる現代の事故防止政策運動の一つとして補助するもので、共済掛金(第二種)を今までは三百五十円支払って、今後は二百五十円に減額されることになっています。申込は市民課交通係

▽四月から乳児手当が支給される

県では、ことし四月一日から、「赤ちゃんが健康で、あわせに育つよう」両親に乳児の養育手当が支給されます。

支給される額は、第一子・二子までが千円、第三子からは二千円

▽住民異動届出の「しおり」はたいせつに

市では、四月から新しい住民基本台帳に切りかえます。

出生・死亡・転入・転出など異動が生じたときは、市民課が発行した「住民異動届出のしおり」を大切に保存しておきましょう。

▽早めに請求を「引揚者特別交付金」

引揚者特別交付金の請求をしていない方は、早めに市福祉事務所へ手続きをすませてください。

請求期限は、来年の三月三十一

▽受け取りは早めにどうぞ

三月三十一日までに、市役所へいろいろの物品を納められた方は、早めに市役所へお申し出を。市役所出納室

飼犬者のみなさまへ

犬は必ずつないで

不要犬は保健所へ

犬の放し飼いや、野犬が増え、子どもが大にかまれそうになったり、農作物があらされたりして、市内ではたいへん被害がでているようです。

新聞やテレビなどでも大にやましい事故なども報道され、大きな社会問題にまで発展しています。

(1) 犬はつないで飼いましょう

犬の放し飼いは、県の大条例でも強く禁止されています。犬は「くさり」か「綱」で必ずつないで飼いましょう。

夜ならだいたいようぶだろうと、犬を運動させるため放し飼いをされる方がいます。飼犬は夜でも放し飼いをすることが禁じられていますのでご注意ください。

犬を放し飼いと、捕獲または毒殺されます。なお捕獲された犬の返還を求めるときは、一日に

三百円の経費がかかります。

(2) 不要犬は保健所へ

いらなくなった犬(子犬も含む)は、山や空地などに捨てないで加茂保健所へもっていきましよう。

(3) 犬が人をかんだら

犬が人をかんだ場合は、狂犬病など恐ろしい病気になることがありますので、すぐ医務で診察をうけるとともに保健所へ届け出を。

(4) 予防接種と登録

市では、五月に狂犬病予防接種と登録を行います。日程は、次号のみのかも市報でお知らせします。

犬にかまれて大ケガをした、犬にはえられて自動車事故にあった、こんなことが市内でおこらないよう、飼犬者は、次のことを守ってください。

必ずつないで飼ってね

今月の納税

今月の在宅医

心配ごと相談

心配ごと相談所は、毎週木曜日午後一時から、中央公民館で開設しています。どんな小さな心配ごとでもお気軽にご相談ください。

今月の相談員

3日 重山 良典・朝日 敏一

10日 細部 遼・浅野 若雄

17日 大野 純一・三品 英一

24日 日比野重勝・渡辺 順一

巡回相談(加茂野連絡所)

14日 細部 遼・坂井 静

四月三十日かぎり

国民健康保険料 第一期分

固定資産税 第一期分

軽自動車税 (全期)

今月の在宅医

春の予防接種

春の予防接種を、次の日程で行ないますので、該当する方は、必ず予防接種をうけてください。

料金

小児マヒ 60円

日本脳炎 150円

結核予防接種 無料

種目別	ところ	中公民館	古井連絡所	下古井公民館	山之上連絡所	藤屋連絡所	加茂野連絡所	下米田連絡所	伊深連絡所	三和連絡所
小児マヒ	1期	1.30	3.00	1.30	2.30	1.30	1.30	3.00	1.30	2.30
	2期	5.16	5.15	5.15	5.14	5.14	5.13	5.13	5.12	5.12
日本脳炎	1期	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	2.30
	2期	5.30	5.29	5.29	5.28	5.28	5.27	5.27	5.26	5.26
結核予防接種	1期	6.6	6.5	6.5	6.4	6.4	6.3	6.3	6.2	6.2
	2期	5.30	5.29	5.29	5.28	5.28	5.27	5.27	5.26	5.26
ツベルクリン	1期	6.17	6.16	6.16	6.11	6.11	6.10	6.10	6.9	6.9
BCG	2期	6.19	6.18	6.18	6.13	6.13	6.12	6.12	6.11	6.11

該当者は必ずうけましょう

昭和44年度各種予防接種および健康診断年間実施計画表

月別	区分	実施予定種目別	該 当 者
5月	小 児 マ ヒ	1 期	昭和43年7月1日～同年12月31日までの出生者
		2 期	昭和43年1月1日～同年6月30日 "
	日 本 脳 炎 (1回め)	1 期	昭和40年4月1日～昭和41年3月31日 "
		2 期	4才以上の希望者全員 (一般成人も含む)
6月	狂 犬 病	飼 犬	
	日 本 脳 炎 (2回め)	1 期	昭和40年4月1日～昭和41年3月31日 "
7月	ツベルクリン・BCG	生後3カ月以上30才まで	
	乳 児 検 診	昭和44年1月1日～同年6月30日までの出生者	
8月	結核健康診断 (レントゲン)	一 般 成 人	
9月	ジフテリヤ・百日ぜき (1回め)	1 期	昭和43年7月1日～昭和44年6月30日 "
	破傷風混合ワクチン	2 期	昭和42年7月1日～昭和43年6月30日 "
	三 歳 児 検 診	昭和40年9月1日～昭和41年8月31日 "	
10月	ジフ・百日ぜき・破傷風混合 (2回め)	1 期	昭和43年7月1日～昭和44年6月30日 "
	小 児 マ ヒ	1 期	昭和44年1月1日～昭和44年6月30日 "
		2 期	昭和43年7月1日～昭和43年12月31日 "
	結核健康診断 (第2次)	一 般 成 人	
11月	狂 犬 病	飼 犬	
	ジフ・百日ぜき・破傷風混合 (3回め)	1 期	昭和43年7月1日～昭和44年6月30日 "
	ジ フ テ リ ヤ	3 期	昭和38年4月2日～昭和39年4月1日 "
		4 期	昭和32年4月2日～昭和33年4月1日 "
12月	インフルエンザ	2歳以上の希望者	
	種 痘	1 期	昭和43年7月1日～昭和44年6月30日 "
		2 期	昭和38年4月2日～昭和39年4月1日 "
		3 期	昭和32年4月2日～昭和33年4月1日 "
45年 2月	胃 ガ ン 検 診	希 望 者	
	子 宮 ガ ン 検 診	希 望 者	

注 種痘・小児マヒの予防接種をうけられる方は、その前後1ヵ月間は「ハシカ」の予防接種をすることができません。また、この実施計画表は、ことし5月から来年1月までのものですから、変更することもあります。なお、細かいことは、毎月発行の「みのかも市報」でお知らせします。詳しいことは、もよりの連絡所か、市保健厚生係 (TEL5-2111内線36) でお尋ねください。

この実施計画表はたいせつに保存しておきましょう